

# 資料4

(R4.3.25 第4回理事会)

## 経営発達支援計画の概要

実施者名	阿哲商工会
実施期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日
目標	<p>阿哲商工会は、新見市と共に小規模事業者の維持及び持続的な発展と、地域経済の活性化のため、他の支援機関と連携し支援を行う。</p> <p>さらに、中・長期的な取り組みとして新見地域内の課題や小規模事業者への振興及び地域の在り方を踏まえた上で、以下の3点に焦点を当て取組んでいく。</p> <p>(1) 小規模事業者の売上拡大・利益向上に資する支援を行う。</p> <p>(2) 円滑な事業承継・創業支援による地域内事業者数の維持を行う。</p> <p>(3) 6次産業化推進及び「A級グルメ」を活用した観光推進体制の強化を図る。</p>
事業内容	<p>I. 経営発達支援事業の内容</p> <p>1. 地域の経済動向調査に関すること 地域の経済動向に関する分析結果を取り纏めた資料を作成し、管内小規模事業者に提供するとともに、事業計画策定時に活用する。</p> <p>2. 経営状況の分析に関すること 積極的な経営分析実施機会の創出を行い、経営資源や特徴を掴み、実施可能性の高い事業計画の策定時に活用する。</p> <p>3. 事業計画策定支援に関すること 事業計画策定の必要性の周知と、経営の持続的な発展を実現し新たな需要の獲得に必要な事業の再構築を図るための事業計画策定支援を行う。</p> <p>4. 事業計画策定後の実施支援に関すること 経営計画の進捗状況を確認し、計画の実行支援や新たな課題・問題等について、他の支援機関との連携も含め的確により深く伴走支援を行い、事業計画の軌道修正を行っていく。</p> <p>5. 需要動向調査に関すること 事業者の取り扱う商品・役務の需要動向について取り纏めた資料を作成し提供を行い実効性のある事業計画作成に活用する。また、地域資源を活用した商品や役務に関する需要動向情報を収集・分析し、新規顧客獲得、販路拡大支援を行う。</p> <p>6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること 新たな地域資源の発掘や既存商品のブラッシュアップを図るため、セミナー及び相談会を開催する。また、各機関が実施する海外展開を含む展示・商談会への出展支援及び小規模事業者持続化補助金を中心とした多様な業種の販路開拓支援を実施する。</p> <p>II. 地域経済の活性化に資する取組</p> <p>1. 地域経済の活性化に資する取組に関すること 新見市及び地域の関係団体と連携し、さらなる活性化を図る。</p>
連絡先	<p>阿哲商工会 〒719-3611 岡山県新見市神郷下神代4898番地9 TEL : 0867-92-6103 FAX : 0867-92-6105 E-Mail atetsu@okasci.or.jp</p> <p>新見市産業部 商工観光課 〒718-8501 岡山県新見市新見310番地3 TEL : 0867-72-6137 FAX : 0867-72-6181 E-Mail s-kanko@city.niimi.okayama.jp</p>

## 【事業の成果・評価・見直しの結果等（令和3年度実績）】

### I. 経営発達支援事業の内容

#### 1. 地域の経済動向調査

達成度			達成・未達成の要因
<b>項目</b>	<b>目標</b>	<b>実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・RESAS は勉強会を行い初歩的な操作方法を学んだ。社会情勢の激変により比較公表する内容について検討をしている。</li> <li>・景況調査（阿哲）は多くのコロナ支援策により売上・利益など比較が意味のないものとなっているため中止とした。</li> </ul>
公開回数（RESAS）	1回	1回	
公開回数 （景況調査 全国連）	1回	1回	
公開回数 （景況調査 阿哲）	1回	0回 （中止）	
年度終了後 HP へ掲載			主な今後の予定・改善点 <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援金受給による納税者増加となっているが、売上減少額より支援金受給額が多いことが要因となる傾向が強い。本来の事業による景況感把握が課題である。</li> </ul>
有識者会議における今後の見直し等に関する意見			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍前のデータとの比較が難しい状況にあるが、コロナ禍の影響データとして日常的な支援の中で現場感のある蓄積を継続したい。</li> </ul>			

#### 2. 経営状況の分析

達成度			達成・未達成の要因
<b>項目</b>	<b>目標</b>	<b>実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営状況登録は決算指導、支援時の情報収集で行えている。支援金申請における情報収集で登録事業者数は増加した。</li> <li>・経営分析は融資・補助金申請時に対応したものが多かった。</li> </ul>
経営状況登録事業者	210社	233社	
経営分析件数	60件	104件	
			主な今後の予定・改善点 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス関係施策の利用に売上比較データ等が必要で早期の提供に努めた。平常時でも、早期定期的な提供を行えるよう、ポイントを絞った対応を行い、効率化を図っていく。</li> </ul>
有識者会議における今後の見直し等に関する意見			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き十分な経営状況の把握と提供が進んでいる。今後の金融を踏まえた資金繰り関連の分析を提供することで適切な経営判断の一層の支援を行いたい。</li> </ul>			

### 3. 事業計画の策定支援

達成度			達成・未達成の要因
			<ul style="list-style-type: none"> <li>概ね達成できている。しかし、経営レポートについては、事業承継時に有効と感ずるが、時代背景により事業承継数自体が減少しており、未達成となっている。創業セミナーについては、コロナ感染症の影響で夏季が中止となった。</li> </ul>
<b>項目</b>	<b>目標</b>	<b>実績</b>	
セミナー開催回数	2回	2回	
事業計画策定件数	35件	105件	
経営レポート作成件数	6件	0件	
創業塾・セミナー開催回数	2回	1回	
創業支援者数	5社	6社	
第2創業（経営革新）支援者数	3社	5社	
			<b>主な今後の予定・改善点</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>補助金ありきの計画策定に陥りやすいが、本来の事業計画を重視した事業運営が進むように引き続き支援を行っていく。</li> <li>WITH コロナ、アフターコロナに対応する創業支援を行えるよう、スモールスタートの事業者、兼業副業フリーランス、業態変換に対応した第二創業事業者を含めた支援を行っていく。</li> </ul>
有識者会議における今後の見直し等に関する意見			
<ul style="list-style-type: none"> <li>本来の事業計画（補助金活用の有無を問わず）の支援充実を図りたい。計画策定だけでなく、PDCA サイクルを事業者内に確立できる支援を一層行ってほしい。</li> <li>BCP を重視した計画の重要性が高まっていることから、阿哲商工会管内の地域状況を踏まえたBCP 支援の充実も必要である。</li> </ul>			

### 4. 事業計画策定後の実施支援

達成度			達成・未達成の要因
			<ul style="list-style-type: none"> <li>フォローアップに関しては、様々な施策を絡めたフォローアップが行えた。</li> <li>売上増加、利益率3%以上の増加事業者数については決算情報収集後に集約する。</li> </ul>
<b>項目</b>	<b>目標</b>	<b>実績</b>	
フォローアップ対象事業者数	35社	23社	
頻度（延数）	105回	67回	
売上増加事業者件数	12社	－社	
利益率3%以上の増加事業者数	7社	－社	
			<b>主な今後の予定・改善点</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、市内全戸へ会報の配布、HP でリアルタイムに情報を発信し、必要に応じてDM で紙媒体による周知をおこなっていく。</li> </ul>
有識者会議における今後の見直し等に関する意見			
<ul style="list-style-type: none"> <li>本体の事業計画の重要性をPR するための啓発や実際に取り組む事業所のPR 等により商工会員に広めていきたい。伴走型支援の取り組みはもちろんこと、さらに自走化に向けた支援まで発展させていきたい。</li> </ul>			

## 5. 需要動向調査

達成度			達成・未達成の要因
<b>項目</b>	<b>目標</b>	<b>実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の影響で、展示商談会等へ出展する事業者が少なく、同行支援数が2社であったため未達成となっている。</li> </ul>
需要動向調査対象事業者	20社	21社	
アンケート調査支援者数	3社	2社	
			主な今後の予定・改善点
			<ul style="list-style-type: none"> <li>変わりゆく消費者ニーズを早期に的確にキャッチし、事業者に応じた細かい対応を行っていく。</li> <li>新型コロナウイルス感染症の影響も含めて情勢に合わせた支援体制を構築する。</li> </ul>
有識者会議における今後の見直し等に関する意見			
<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍の中で積極的な展開が難しい状況が続いているが、コロナ禍の中でも可能な取り組みの模索が重要である。コロナ禍で変化している需要も踏まえた需要動向調査が求められる。</li> </ul>			

## 6. 新たな需要の開拓に寄与する事業

達成度			達成・未達成の要因
<b>項目</b>	<b>目標</b>	<b>実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小規模事業者持続化補助金の申請は、一般型8社、低感染型15社とコロナ禍における事業運営を前向きに考える事業者の支援に注力した。</li> <li>その他の販路開拓支援に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて未達成となっている。</li> </ul>
小規模事業者持続化補助金の申請	18社	24社	
販路開拓セミナーの開催	2回	2回	
展示会・商談会出展事業者	10社	2社	主な今後の予定・改善点
見積提案数/社	2社	8社	<ul style="list-style-type: none"> <li>出来ることを模索しながら、目標に近づけるように対応していく。</li> <li>時代情勢、会員ニーズを把握しながらセミナー及び個別相談会にて販路開拓を支援する。</li> </ul>
成約件数/全体	2社	0社	
ブランド認定事業者	－社	－社	
売上増加事業者数	－社	－社	
売上額(前年対比)/社	－社	－社	
有識者会議における今後の見直し等に関する意見			
<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍の中で需要動向と同様に積極的な展開が難しい状況にある。持続化補助金等を用いたコロナ禍対策・低感染対策を踏まえた展開の可能性を模索したい。</li> </ul>			

## II. 地域経済の活性化に資する取り組み

達成度			達成・未達成の要因
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・A 級グルメフェア、イベント開催については、新型コロナウイルス感染症の影響で計画実行が困難になった。</li> <li>・まちづくり委員会はコロナ禍により原則自粛としていたが、コロナ禍における需要喚起促進策を検討するために、必要最小限の招集とした。</li> </ul>
項目	目標	実績	
A 級グルメフェア出店社数	8 社	— 回	
まちづくり委員会開催数	4 回	1 回	
イベント開催数	4 回	— 回	
情報交換会議の開催	12 回	12 回	
コミュニティサービスに み参加企業数	26 社	25 社	<p style="text-align: center;">主な今後の予定・改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・WITH コロナ、アフターコロナに対応しながら引き続き行っていく。</li> </ul>
有識者会議における今後の見直し等に関する意見			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き関係機関との協議を行いウイズコロナ時代の方向性を検討してほしい。</li> </ul>			